

# 科目区分：外国語科目（英語）

授業科目名	総合英語					学期	曜日	校時
英語名	Comprehensive English							
担当 教員名	川島 浩勝	単位数	1 単位	必修 選択	必修	後期	火曜日	2 校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>言語学習の柱の一つとして、発音練習を上げることができる。本授業では、先ず、日本人英語学習者が苦手と感じている母音のミニマルペアー（NUT と NOT の違い等）を利用して、音素識別能力を養い、それをベースに発音練習を行う。</p> <p>本授業の二つ目の柱は、速読やリスニングで必要とされるスピーディーな英語情報処理能力の養成である。</p> <p>前者では、英文を読んで日本語に訳することなく英語の語順に従って情報を処理・理解していかなければならないが、そのような能力を養うために、徹底した音読練習を行う。文字を見ながら、ナチュラルスピードで話される英語をリピートしながら、同時に、その意味も理解していく訓練である。後者においては、耳に入ってきた英語を日本語に訳することなく、情報を処理・理解していかなければならないが、そのような能力を養うために、徹底した Listen &amp; Repeat の練習を行う。テープから流れる英文を瞬時に聴き、それをリピートしたり、また、テープから流れる英文をオンライン状態でリピートする訓練である。</p> <p>このような情報処理能力の養成を効率的に行うためには、同時にできるだけ多くの英語を読んだり（Extensive Reading）、また、聴いたりすること（Extensive Listening）が必要であるが、本授業では、易しい英語で書かれた本（語彙レベル初級）を数冊読み、また、自然なスピードで話される英語（海外のドラマ等）に多く触れていく予定である。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
第 1 回目の授業での英語学力診断テストの結果を見て決定する。								
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 員 研 究 室		
P 1 9	出席状況・各種テスト・課題等によって総合的に評価する。詳しい情報は、第 1 回目の授業の時配布するプリントを参照すること。							
授 業 計 画								
<p>第 1 回：方針説明・発音の重要性の確認・英語理解と日本語訳の違いの確認・英語学力診断テスト</p> <p>第 2 回～第 6 回：90 分授業を大まかに 4 つのパートに区分：A（約 25 分）、B（約 25 分）、C（約 15 分）、D（約 15 分）</p> <p style="margin-left: 20px;">A：Extensive Listening（アメリカの家族生活を題材とした 3 種類のビデオ 理解可能な部分の書き取り）</p> <p style="margin-left: 20px;">B：母音のミニマルペアーの聞き分け練習ならびその発音練習</p> <p style="margin-left: 20px;">C：リーディングのための Listen &amp; Repeat の練習（文字あり）</p> <p style="margin-left: 20px;">D：リスニングのための Listen &amp; Repeat の練習（文字なし）</p> <p>第 7・8 回：練習成果テストを通しての第 2 回～第 6 回のまとめ</p> <p>第 9 回～第 14 回：90 分授業を大まかに 4 つのパートに区分：A（約 25 分）、B（約 25 分）、C（約 15 分）、D（約 15 分）</p> <p style="margin-left: 20px;">A：Extensive Reading（宿題として読んできた英語の本の内容理解の確認）</p> <p style="margin-left: 20px;">B：練習したミニマルペアーに関する弱点の克服</p> <p style="margin-left: 20px;">C：Listen &amp; Repeat（文字あり）に関する困難点の把握・克服</p> <p style="margin-left: 20px;">D：Listen &amp; Repeat（文字なし）に関する困難点の把握・克服</p> <p>第 15 回：全体のまとめ</p>								
<p>オフィスアワー（質問受付時間）：特に設定しないが、授業終了後、質問を受け付けます。また、話し合いにより後日、時間を設定する場合があります。</p>								